

兵庫県健康づくり推進実施計画（第2次）の目標項目の評価と課題

主な指標

【健康寿命】

- ・ベース値（H27）より男性で0.79歳、女性で0.97歳延伸している。
- ・目標の1年延伸には到達しなかった。
- ・平均寿命も同様に延伸しているため、不健康期間（平均寿命と健康寿命の差）の短縮は横ばいの傾向にある。

【圏域間の健康寿命の差の縮小】

- ・男女ともに最も長い圏域は「阪神北」であり、男性で最も短い圏域は「中播磨」、女性で最も短い圏域は「西播磨」となっている。
- ・差は、男性で1.92年（前回：2.24年）、女性で1.31年（前回：1.11年）となっており、男性は短縮したが、女性は差が開いている。

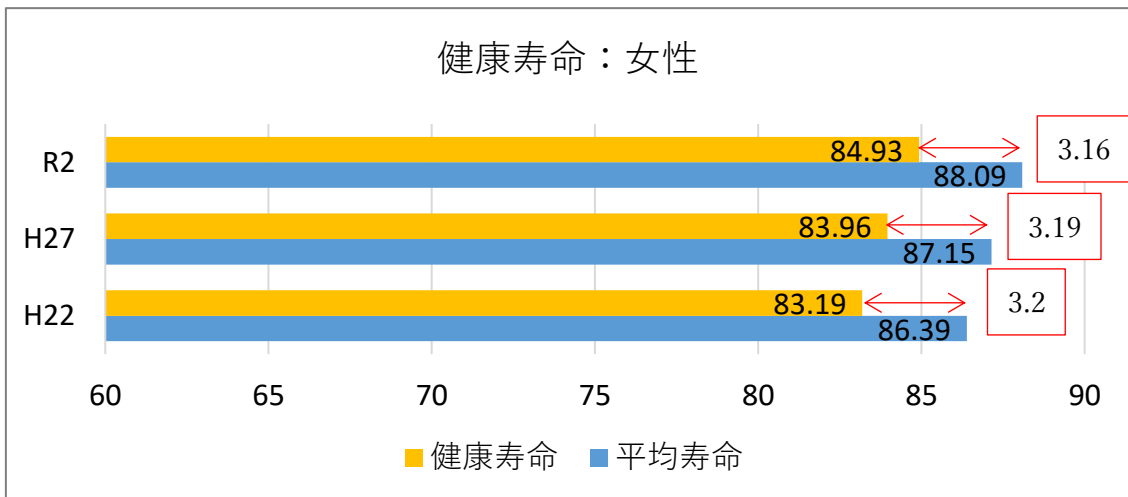
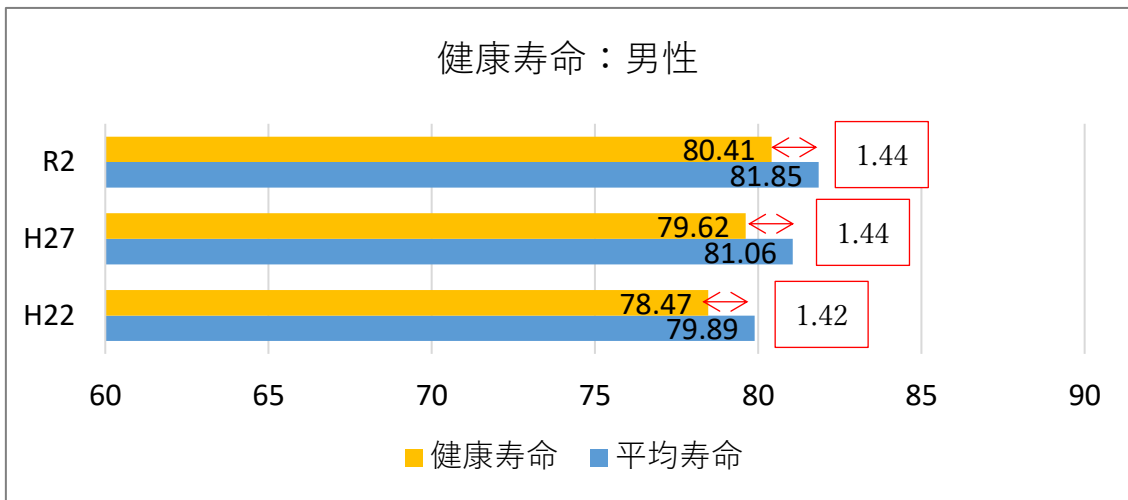
【健康意識の向上】

- ・健康づくり実態調査にて、「健康に関して特に意識しておらず、何も行っていない」回答した者を健康無関心層とし、評価した。
- ・健康無関心層の割合はベース値と比較して4ポイント下落し、県民の健康意識の向上が見てとれる。

総括

- ・主な指標である健康寿命および健康意識は、おおむね目標達成もしくは改善した。
- ・新型コロナウイルス感染症は、直接的な影響だけでなく、生活習慣の変化による健康への影響等があると考えられ、流行下における医療・保健・福祉・教育等の各分野の動向を注視していく必要がある。
- ・健康寿命の延伸という課題に取り組むにあたり、各種疾病の早期発見、治療管理による疾病の重症化予防、介護・福祉サービスなどの取組も非常に重要であり、兵庫県の各種関連計画と整合性を図りつつ、本計画の策定および健康増進施策を進めていく必要がある。
- ・健康寿命は、様々な要因の影響を受けるが、5つの生活習慣（①喫煙、②身体活動、③睡眠時間、④野菜摂取量、⑤果物摂取量）との関連について明らかになるなど、健康寿命延伸のためのエビデンスが出てきつつある。
- ・最新の知見を活用しつつ、コロナ禍における県民の健康づくりの実態に応じた健康づくりを推進することで、健康寿命のさらなる延伸が期待できる。

兵庫県における平均寿命と健康寿命の推移（H22～R2）



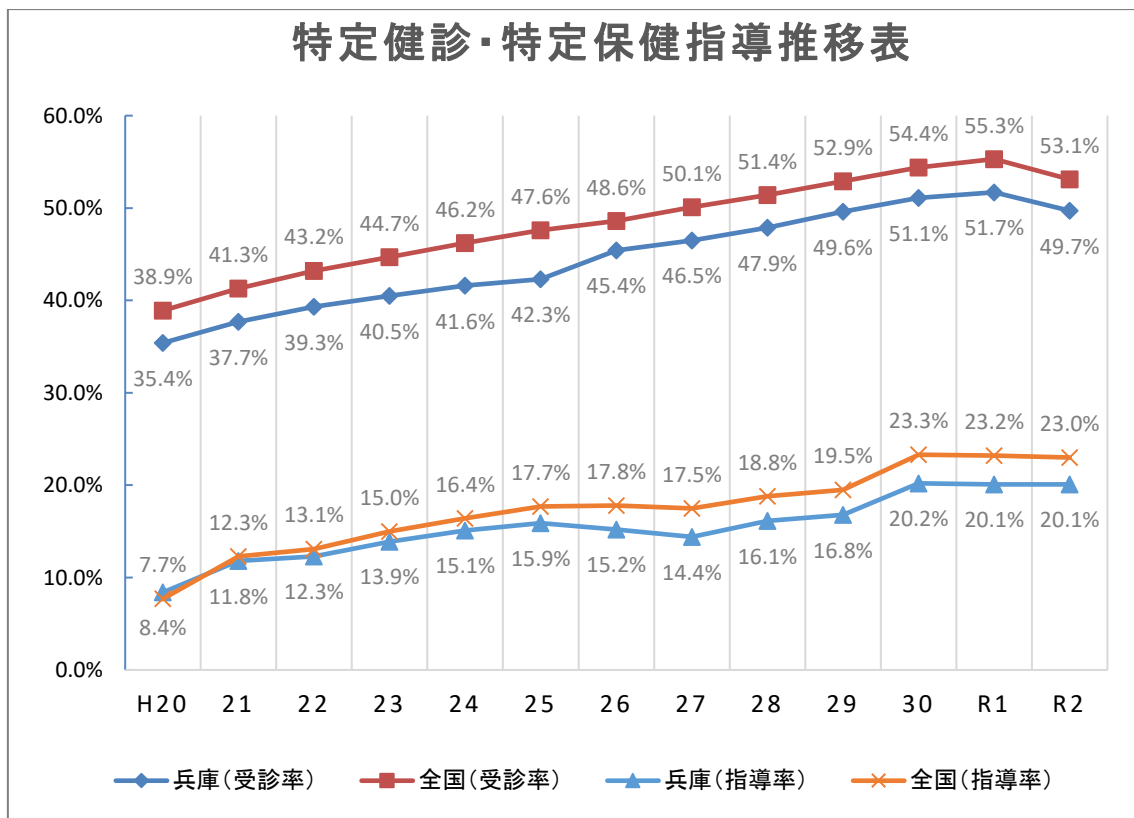
(兵庫県健康増進課算定)

生活習慣病の予防

主体的な健康づくりに向けた健康意識の向上

[特定健診受診率・特定保健指導実施率] …⑧⑨

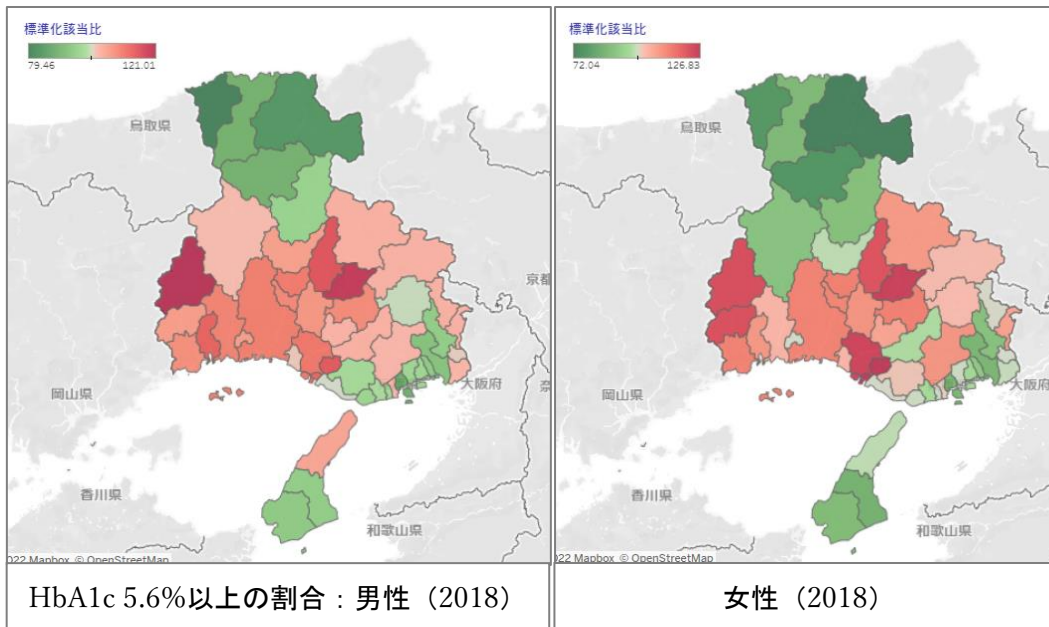
- ・目標値である70%・50%には到達していないが、改善傾向にあり評価は「○」
- ・年次推移を見るとR2年度の受診率が減少しており、これは新型コロナウイルス感染症による健診の実施見合わせや受診控えが影響していると考えられる。また、R3にかけてさらに減少するかもしれない横ばいの傾向が続くと予測される。
- ・R4年になって健診機関からは、徐々にコロナ禍前の水準へ戻りつつあると報告がある。
- ・情報通信機器を使用した保健指導のあり方に関する通知が発出されるなど、保健指導の実践者に求められる知識・技術は日々更新されている。



(特定健診・特定保健指導に関するデータ：厚労省)

[糖尿病関連指標] …⑬～⑯

- ・糖尿病腎症重症化予防プログラムの取組市町数が全市町となった。
- ・HbA1c の値は悪化し、新規透析導入患者数は増加している。
- ・糖尿病有病者のうち治療を継続している者の割合は増加している。
- ・HbA1c 等の健診結果については、県内でも地域差がある



（兵庫県健康 Data ダッシュボードより）

食生活の改善

[食塩摂取量の減少] …①

- ・食塩摂取量の平均値は、H28年と比較して増加傾向であり、悪化した。
- ・減塩が血圧を低下させ、結果的に循環器疾患を減少させることは立証されている。
- ・消費者の啓発や食品中の食塩量の規制が、高血圧対策において費用対効果が高いこと、さらに食塩・高塩分食品摂取が胃がんのリスクを上げることも示されている。

[朝食を食べる人の割合] …④

- ・朝食欠食は生活習慣病リスクを高める可能性が示されているが、朝食を食べる人（20歳代）の割合は、H27年では男性51.4%、女性69.2%であったが、R3年では男性47.0%、女性64.9%と低下している。
- ・テレワークやサテライト勤務等で生活スタイルが変化し、「朝活」などを通じて、若い世代を中心に生活スタイル見直しの機運が高まっている。

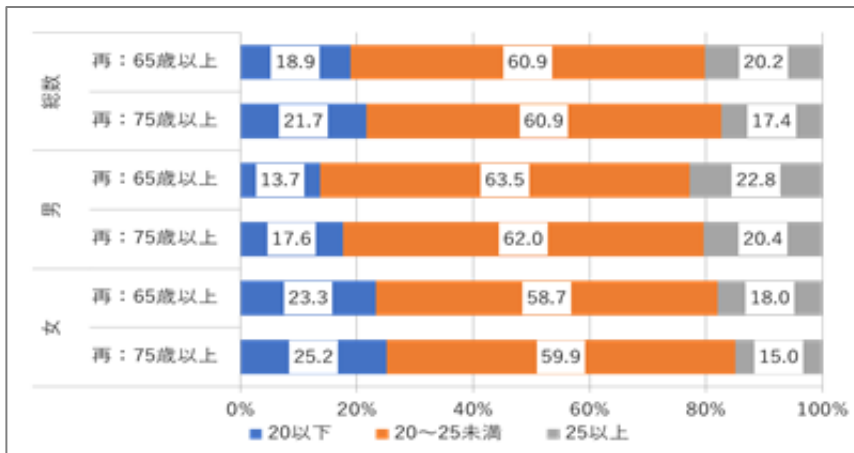
[適正体重の維持] …⑦

- ・評価では、男性「×」女性「○」となっている。
- ・兵庫県健康づくり実態調査で年代別に傾向を確認すると、男性20代-60代、女性30代-

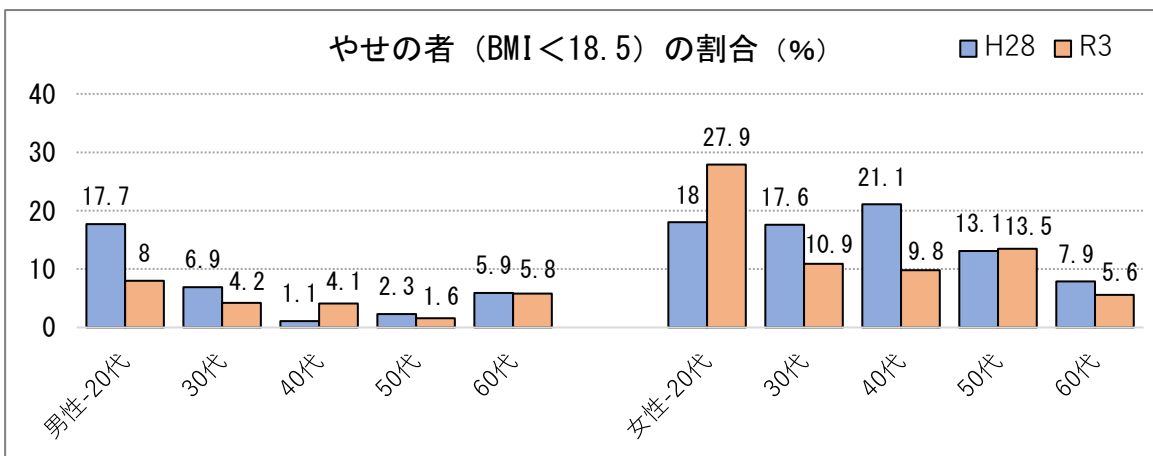
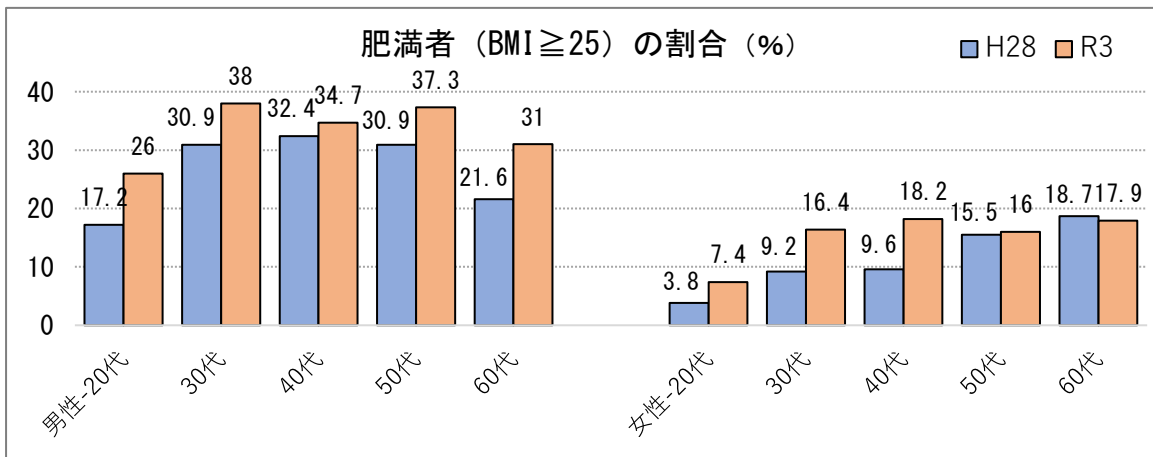
40代で「肥満 (BMI25 以上)」が顕著に増加している。また、女性 20 代では「やせ (BMI18.5 未満)」が顕著に増加している。

・低栄養傾向 (BMI20 以下) にある高齢者 (65 歳以上) の割合は 18.9% (男性 13.7%、女性 23.3%) であり、ベースラインの H28 年 (21.8%) と比較して減少したものの、全国値 (R 元年度国民健康・栄養調査 総数 (16.8%)、男性 (12.4%)、女性 (20.7%)) を上回っている。

低栄養傾向 (BMI \leq 20kg/m²) の高齢者の割合 (性・年齢階級別)



(令和3年度ひょうご栄養・食生活実態調査)



(令和3年度兵庫県健康づくり実態調査)

たばこ対策の推進

[受動喫煙の割合の減少] …⑤

- ・受動喫煙の機会を有する者の割合は減少傾向にあり、特に飲食店で減少している。
- ・職場における受動喫煙の減少幅が少ない

過去1ヶ月間で1回以上受動喫煙があった者の割合

	H28	R3	差
職場	24.8%	21.6%	-3.2
飲食店	42.0%	17.3%	-24.7
行政機関	4.5%	3.5%	-1.0
医療機関	4.6%	4.6%	0.0
家庭	16.0%	8.0%	-8.0

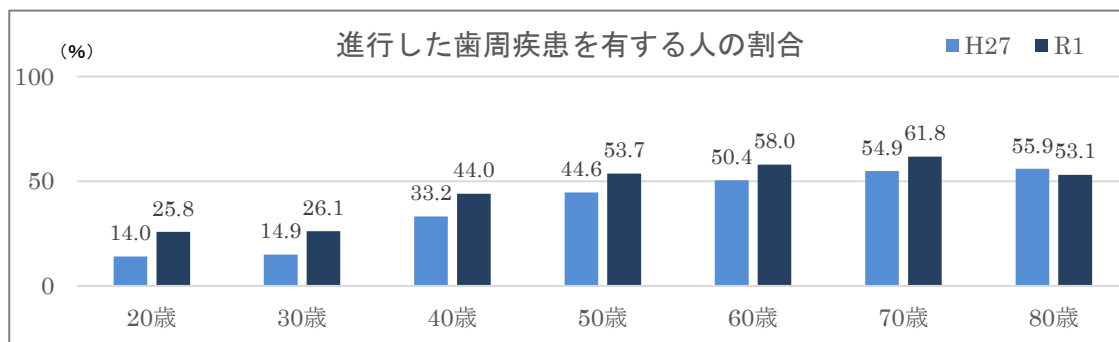
(令和3年度兵庫県健康づくり実態調査)

歯及び口腔の健康づくり

総合的な推進

[歯科健診・かかりつけ歯科医・PMTC*] …①②④ *Professional Mechanical Tooth Cleaning (専門的機械歯面清掃)

- ・歯科健診、かかりつけ歯科医の目標は「改善」、PMTCは「達成」
- ・歯科診療所は歯が痛くなってから行く場所という意識から、定期的を受診する場所という予防歯科の意識が県民の中に醸成されつつある。
- ・歯周疾患を有する者は、H27からR1にかけて増加傾向にあり、特に20代、30代の若い世代において増加が顕著である。



(兵庫県健康増進課作成)

次世代への支援

[妊婦歯科健診] …④

- ・妊婦歯科健診は39市町、歯科専門職による歯科保健相談は29市町で実施されてる。
- ・全41市町での実施は達成されておらず、妊婦歯科健診受診率(26.4%)も低い。

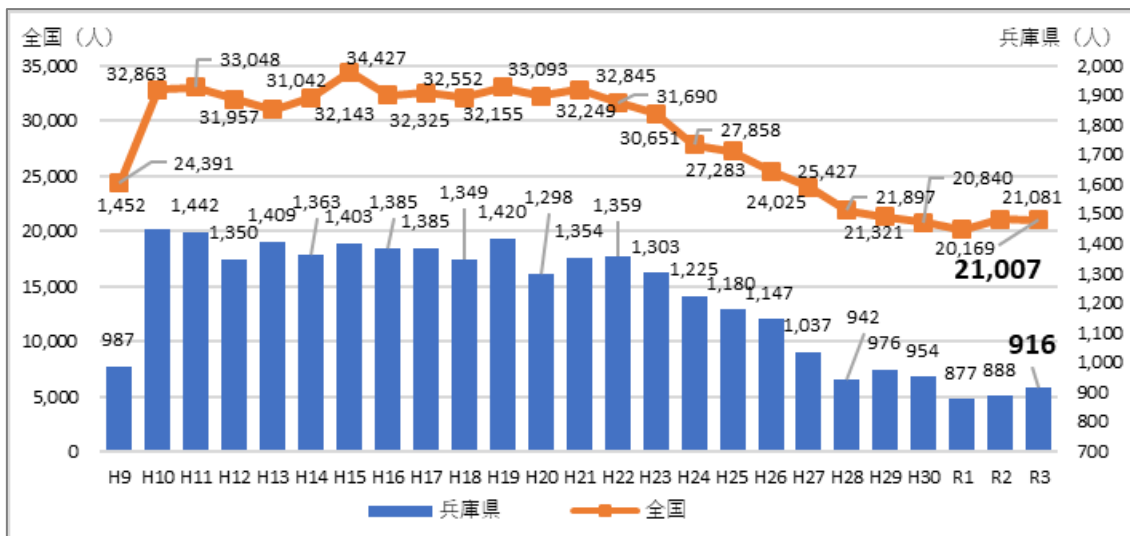
こころの健康づくり

ライフステージに対応した取組

[自殺者数・メンタルヘルスに取り組む企業] …①⑪⑫

- ・自殺者数は H23 年以降減少傾向にあったが、R1 年を最低とし、R2 年以降増加傾向にある。
- ・自殺死亡率(人口 10 万対)は、20 代、40 代、50 代の働き盛り世代で高い傾向にある。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響による、経済情勢や生活様式の変化による影響が大きいと考えられるが、著名人の訃報等のセンシティブな情報が SNS 等を通じ、高速かつ大量に拡散されるようになった影響も一部で考えられる。

全国と兵庫県の自殺者数の推移



(兵庫県障害福祉課作成)

健康危機管理事案への対応

災害時における健康確保対策

[災害時保健指導マニュアル策定市町数の増加] …①

- ・策定済み市町が 21 市町 (H28 : 14 市町) と増加しており、市町における健康危機管理の取組が進んでいる。

感染症の発生予防・拡大防止

[家庭での感染予防対策に取り組む人の割合の増加] …①

- ・手洗い・マスクなどの基本的な感染予防の意識が醸成され、大きく改善傾向である。